

市長のあつあつ情報

No.5

市内小中学校を視察

現在、市内の小中学校を視察して回っています。それぞれの学校で特色があり、所在地の歴史との繋がりを感ずることが出来ます。

GIGAスクール構想によるタブレット端末を使用した授業なども見学させていただきました。よりタイムリーな情報を共有し授業に生かしていることで、時代に即した学びとなっていると認識しました。授業で使用する大型ディスプレイやタブレットの更新などに加え、学校設備については、近年の気候変動に対応すべく空調設備の整備やトイレの洋式化等が順次進められています。体育館や特別教室への空調整備や校庭の排水処理の向上など多くの課題もあります。施設整備はもちろん学びの質の更なる向上を目指していきます。

また、先日は学校給食センターも視察し、鶴枝小学校にて栄養価がしっかりと摂れるよ

うに工夫された給食を、児童たちとおいしくいただきました。一方で、9月の市議会でも取り上げられた食品ロス、いわゆる食べ残しについて気になりました。食べ残しの量は、児童が学校給食センターの給食調理を見学することで減る傾向にあるようです。食育も含めて工夫が必要ですね。

視点をゴミ処理に向けると現在ゴミ処理に関しては、長生郡市の広域組合事業で行っています。中の島町の環境衛生センターで処理しますが、焼却灰等は最終的には現在大沢にある最終処分場に埋め立てています。この処分場の埋立容量の逼迫により新たな最終処分場を長柄町に建設しており、費用は約80億円かかります。

そしてこの処分場の埋め立ても15年から20年ほどで満杯になり、新たな建設が必要となります。皆さんどう考えますか？



茂原市長 いちはら あつし 市原 淳

生ごみの処理には、燃焼による二酸化炭素の排出もあり、地球温暖化への影響が懸念されます。2050年のカーボンニュートラルを目指していく中でもごみの削減は重大な問題です。家庭から出る燃えるごみの約4割は生ごみといわれていますので、本市では生ごみの減量化、資源の有効利用を進めるため、生ごみ処理機・堆肥化容器の購入費の一部を助成しています。引き続き皆さまと考えていきます。

【今月の1枚】

